

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスありがた家		
○保護者評価実施期間	平成36年11月10日		～ 平成36年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	平成36年11月13日		～ 平成36年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	平成36年12月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数のため、個別ケアを行うことができる。	それぞれの特性や性格に合わせてコミュニケーションをとっている。いつも同じことをしているわけではなく、今日はこれをしてみる？と提案している。	
2	幅広い年代の様々な障害を持った人と関わる(交流する)ことができる。思いやる気持ちが育っている。	レクリエーション(家事作業も)を高齢者等も誘って一緒に行ったり、交流できるような間に入るなどしている。同じスペースで過ごしたり一緒に行事などを行っている。	
3	本人の自主性や主体性を、大切にできている。一人一人の個性を大切にしている。	プログラムを事業所側が事前に決めるのではなく、その日の本人の体調や気持ち・成長・季節に合わせて本人が提案し、やりたい活動を一緒にしている。行きたいところや食べたいものを聞き取って叶えている。	
4	自信を持って生きられるよう寄り添っている。お年寄りが褒めてくれる機会が多くあり、自然に子ども達が自信を持つことができる。	職員が児童のできた事や良いところをよく褒めており、自分らしく生きられるよう応援している。児童ができた事を、職員がお年寄りに伝えている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流については、まだまだ改善が必要。地域のニーズの把握や、地域支援等はできていない。	新型コロナウイルス流行時以降、保護者や地域住民がデイルームに入ることが減ってしまった。	徐々に地域ボランティアや学生ボランティア等は戻ってきているが、声掛けや行事へのお誘いなどで、地域住民や保護者が気軽に交流しやすい場所へ改善してしていきたい。散歩や地域の施設に出かけるなどの地域交流や、避難訓練等に地域住民をお誘いする等の活動は継続する。
2	日によって、時間帯によっては、レクリエーションにゆとり時間をかけられない・十分に話を聞いてあげられない時がある。(高齢者の介護や送迎に人手が取られる)	人手不足。	夕方の人員の確保。
3	騒がしい環境が苦手な人や、音が気になる児童には配慮(一人になれるスペース)が必要。人とは全く関わりたくないという児童への対応が難しかった。	人とのかわりが多い。	様子を見ながら個室対応や別室での対応を積極的に行う。